

带状疱疹ワクチンの助成制度の創設及び定期接種化を求める意見書

带状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や疲労、ストレスなどによる免疫力の低下により、体内に潜伏する带状疱疹ウイルスが再活性化し発症するものです。

日本人では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症すると言われており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもあります。

この带状疱疹の発症予防のために、ワクチンが有効とされていますが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくありません。

よって、苅田町議会は、国会及び政府が、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を行われるよう強く要請します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和6年6月20日

福岡県京都郡苅田町議会

衆議院議長	額賀 福志郎	殿
参議院議長	尾辻 秀久	殿
内閣総理大臣	岸田 文雄	殿
財務大臣	鈴木 俊一	殿
厚生労働大臣	武見 敬三	殿